

⑦ 名取市閑上地区 被災市街地復興土地地区画整理事業 設計・施工一括型工事

西松建設・鴻池組・佐藤工業・グリーン企画建設・パシフィックコンサルタンツ・オオバ 共同企業体



1 目的・概要

本工事では、東日本大震災により被災された閑上の多くの方々が安全・安心に暮らせるために、閑上地区の一部を嵩上げて高台となる市街地を形成し、災害に強い街づくりを行っています。そのため当工事では、現地盤を嵩上げるための大量の盛土材搬入や、地区内を通る交通量約1万台以上/日の県道の交通を妨げずに県道の迂回路をつくらせ、県道下に配置される大型横断ボックスの迅速な施工など、工夫した工事展開が必要不可欠です。

約120haの工事エリアの中で、徐々に区画整理完了した場所への移転も進んでおり、新しい住民の方への配慮やスケジュール調整を名取市復興部と行いながら現場職員一同、名取市閑上地区の復興達成に向けて施工しています。



平成 26 年 12 月時点



平成 30 年 3 月現在

2 現場を支える技術

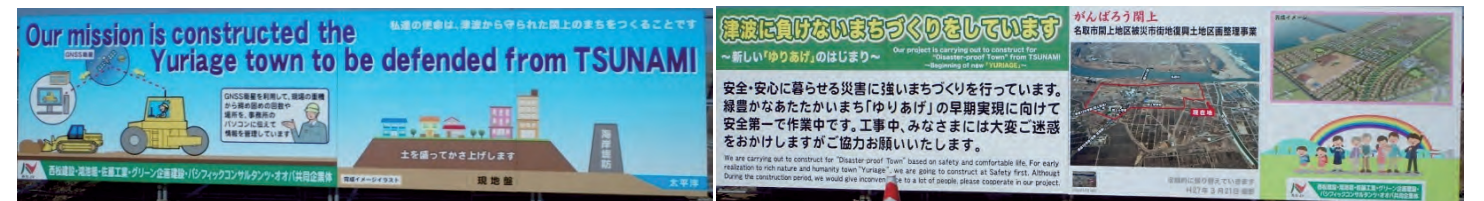
高台を造成する盛土をするために、盛土材を安定的かつ均一にムラなく締め固めを行う必要があります。そこで GPS のように衛星を利用した締め固めシステムを導入し、作業場所、高さ、適切な締め固め回数を自動的にコンピューター処理し、リアルタイムにモニターで確認しています。また GPS を利用した運行管理システム-Pita@(びたあつと)を導入し、1,000 台/日を越えるダンプの運行状況をコンピューターで管理し、交通渋滞や一般事故等によるルート変更・搬入時間の調整にも役立っています。

Pita@(びたあつと)

GPS 衛星

各土取場毎にスマートフォンを所持し、事務所パソコンにてリアルタイムに運行状況を把握出来る

起振動 200kN 級振動ローラでオペがモニターを見ながら色塗りをするかのごとく締め固め作業を行う



震災復興事業を一般の方、海外からの来訪者にも、わかりやすく解説した工事案内看板を現場の入口周辺部に設置している

3 工程・スケジュール

月 日	平成26年度(2014)			平成27年度(2015)			平成28年度(2016)			平成29年度(2017)			平成30年度(2018)			平成31年度(2019)					
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
事業の推移 (H25.11.22事業認可)																					
【準備工】																					
基本測量境界確認																					
既設構造物撤去 (行方不明者捜査)																					
県道迂回路(1)~(3)																					
【本体工事-西事業】																					
盛土工事																					
インフラ工事																					
戸建建築																					
集合建築																					
【本体工事-東事業】																					
撤去工事																					
盛土工事・インフラ工事																					

KEY PERSON

多くの職種が存在する区画整理事業で諸先輩方や協力業者の方々から、様々なノウハウを学ばせていただきながら業務を遂行しています。私は主に、盛土・舗装の施工管理を担当しています。

宮城県出身で震災を経験した私は、入社前から復興事業に携わりたいと強く希望し、最初の配属で閑上の復興事業への配属が決定しました。現場で働く人々と共に、日々、試行錯誤しながら努力を積み重ね、閑上の風景を変えていくことにやりがいを感じます。

西松建設・鴻池組・佐藤工業・グリーン企画建設・パシフィックコンサルタンツ・オオバ共同企業体

現場配属2年目
(いしかわ ひろき)
石川 廣大



一般社団法人 日本建設業連合会 東北支部
仙台市青葉区本町2-2-3 TEL 022-221-7810 FAX 022-265-9465